

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		流し等が設置され、スペースの手狭さは感じる。折り畳み机等の使用で活動スペースの確保している工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			子ども人数に合わせて規定以上の人数を配置。必要性に応じて基準以上の人数を配置。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		現利用者で不自由さはない。フラットではあるが畳の段差など気になる点もあり。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			児童対応、インシデント等でPDCAサイクルに基づき振り返り、改善等実施。法人学習会も実施している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価の実施は年間1回行っている。周知はしているが、特に気になる改善事項は無し。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開済み
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者機関の評価実施はないが、理事である社労士の先生による学習会を月1回実施。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			命令研修も法人として実施。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			面談時に保護者からの要望、支援方法等を確認し、計画に反映している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		施設として標準化したアセスメントツールが定められているわけではないが、発達段階に合わせた支援をチームで検討する機会は設けられている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			リーダーが作成し、それを午前中のうちに共有し、チームで意見を出し合う体制をつくっている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			月間カレンダーの作成や、事業所会議で季節行事、平日活動等も新しい取り組みを立案、実施している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		休日だからできるプログラムとしてホビークラブ等を設定している。個々人への詳細な課題設定は十分とは言えない部分有り。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			計画内では個別的、集団的な課題を設定。活動内ではその場に応じて個別対応と集団対応を使い分けている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援内容について確認する時間は設けられている。児童の様子や留意点などより細かく共有できるようにできればより良い。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			必ず振り返りミーティングを実施。気になったことについては都度話し合っている。決定事項に関して取り組み状況の振り返りがさらに意識化されると良い。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の記録はつけている。児童によって記録の量や頻度に差はあり。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に一度のモニタリングを実施、必要性に応じて見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		複数組み合わせ合わせた支援を行っている。自立支援、創作、余暇の提供等。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○	機会がなく参加できていない。必要に応じて、児童発達管理責任者、担当指導員が参加する。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		行事予定、下校時間等は通学児童の代表者に確認をしている。学校とは児童引き渡しの際に必要な事項を引き継いでいる。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	対象となるような医療的ケア必要児童の不在。担当医療機関の連絡先等の把握を行っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	現状機会なし
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	現状機会なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	障害福祉課に来ていただいていた研修の機会あり。児童発達支援センターへの研修の機会あり。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	現状機会なし
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○	現状機会なし
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		半年に一度の面談の他には、日々の連絡帳や提供記録のやり取り、送迎時、必要に応じてメール等でのやり取りを行えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	現状実施なし
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○	運営規定、負担額等は入会時に、支援の内容等については面談時に都度説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	面談、連絡帳等で実施。保護者の発信のしやすさとして、十分かどうかの判断は難しい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	定期的な保護者会の実施。福祉まつりの委員の実施。ただし参加保護者は限られてしまっている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		対応体制はつくり、要望を含み都度事業所として対応しているが、記録としての保存が不十分。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			通信を定期的に発行(年間3回程度)、他行事予定等については対象者にメールにて発信。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			書庫の施錠、シュレッダーの使用等配慮はしているが、活動スペースにおける書類の取り扱いには改善が必要。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚支援等の使用はしているが、全児童に対し有効とはいえないため、個別に有効な手段を検討の余地あり。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現状実施なし
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			策定、職員への周知はしているが、保護者への周知は行えていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			地震と火事の避難訓練を毎月実施し、振り返りとそれに応じた訓練の改善もしている、
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修実施あり
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		児童の安全管理上必要な場合は、面談時保護者を交えて決定し、計画にも記載している
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者に記載してもらった対応表の掲示等を実施
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			作成、定期的な振り返りを実施